

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2277102188		
法人名	株式会社アイケア		
事業所名	あいの街篠ヶ瀬 東ユニット(B)		
所在地	浜松市東区篠ヶ瀬町345		
自己評価作成日	平成27年11月18日	評価結果市町村受理日	平成28年1月29日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_2015_022_kami=true&amp;jiyosyoCd=2277102188-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_2015_022_kami=true&amp;jiyosyoCd=2277102188-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構		
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	平成27年12月7日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

季節事に行事 外出 飾り付けをし一瞬だけでも楽しさ、四季を感じながら生きていただきたいと思っています。ご利用者様ご家族とも行事の場で、共に食事または行事を楽しんでいただきながら様子を見ていただいています。外来者様からは、笑顔の多い元気な施設ですねとのお言葉を頂きます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

山茶花に囲まれ和やかな空気の流れる場所に事業所はあります。平均介護度3.4と重度化に向かうなかでも、安易に手を出すことは抑え『食事』『行事』『健康維持』に力を入れ、例えば食事では「箸を使い、できるだけ自分で」と声かけや提供方法をアレンジし、進まない人には梅干しなど食欲が増すものを検討しています。バイタルチェックは当然のこと、1日の詳細がA3版1枚でわかる生活管理表と名づけたシートを導入して30分ごとに時系列で記録をとり、異変にすぐに気づけるよう観察力を高め、また体操はユニット移動もリハビリの一環と位置づけ、ラジオ、リハビリ、嚥下と時間をかけてゆっくりとおこなうことが日課となっています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は常に見える所へ掲示し、共有している。朝礼にて、社是の唱和を毎日している。	毎朝、朝礼では社是を全員で唱和しています。「関わりを通して利用者の笑顔を見ることができた」という経験の積み重ねから、理念「笑顔の見えるケア」が体得されていく様子を管理者は受けとめています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	散歩途中の挨拶や会話、イベントへの参加等日常的に交流している。	地域の秋祭りに合わせて所内での祭りをおこない、屋台の立ち寄りではおにぎり400個、赤飯、子どもには菓子150個余を用意し、ジュースも振る舞っています。昔を想起した利用者は囃子にのって腕を上げる仕草を見せてくれるとの嬉しい場面もありました。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	相談に来られた人には対応し、常に散歩等で、触れ合うことで理解してもらっている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議においてはその時々施設の状況の発信をしている。又町内会、包括 市役所からも情報をいただいている。	偶数月の平日開催と定め、前任の自治会長や民生委員も引き続き出席くださり、地域から厚遇を受けています。家族からサービス付高齢者住宅について質問が挙がり、法人所有の施設へと見学に出向いたとのアクティブな出来事もあります。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議へほぼ毎回出席いただき事業所の取り組み実績についても理解して頂いている	東区役所担当者の異動がなかったことで運営推進会議ほか継続的な相談も叶い、ケアマネジャーも介護保険の更新手続きで毎月区役所を訪問しています。地域包括支援センターからの問い合わせが入居に結び付いた例もあります。介護相談員の受入もおこなっています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については研修を毎年行っており朝礼時日々の業務の中で、報告、相談を受けた場合にはその都度伝えている。	玄関は状況に応じて施錠することもあります。継続としないよう注意しています。スピーチロックは全体会議でも語り、その結果ユニット間での連携体制につながり、より発展的に結ばれています。本件は法人研修に位置付けられ、学ぶ場も用意されています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修を行っている。会議にて徹底しその都度注意指導している。		

### 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	内部研修を行い、勉強している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には重要事項の説明をし利用者や家族の不安に答えている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時、または運営会議の折には話し合い、意見、要望を頂いた場合には、職員全員で共有し、反映させている。	面会で伺った内容は連絡ノートに記録したうえで職員全員で話し合い、本人に係ることは改善を進め、運営については法人にあげています。秋祭り、クリスマス会には招待した家族集うこともあり、25名余となったこともあります。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞き機会を設け、反映させている	月1回の会議の折 また毎日の朝礼時意見提案を聞き反映させている。	個人面談はないものの都度職員の進言や相談があり、管理者としては「言ってもらえていない」「言えないのではないか」といった危惧は全くありません。朝礼の場でも積極的に意見が挙がることもありますが、運営というより利用者のことが大半です。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努めている。有給 希望休の確認をしている。労働時間においては、オーバーワークにならないよう気をつけている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修 外部研修への参加を促している。又折に触れ場面場面で指導している。プリセプター制度を導入している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修への参加 近くの小規模又はサ高住への見学、交流を通して情報交換をしている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメント作成時には必ずお会いして状況確認をし、傾聴している。その後職員に伝達し、共有している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	アセスメント時見学時キチンと傾聴し要望等に耳を傾けている。その都度連絡し理解いただいている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所時傾聴し様子見をさせていただき支援方法を共有している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員とご利用者は信頼関係を築き、できることはして頂き、共に楽しみ安心して生活できる環境作りに励んでいる。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族はいつ来ていただいてもよい状態にありイベント時には積極的な参加をいただいている。そのときどきにご要望があればお聞きして関係作りに努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	イベント時家族知人に積極的に参加してもらい関係の継続に努めている。又常にもお越しいただいている。	事業所行事では利用者と家族と一緒に食事を取り、ゆっくり寛いでもらっています。家族が迎えにきてくれ、自宅で過ごすことが繰り返されている人もいます。面会には時間制限なく、また友人、知人の来訪も歓迎しています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が積極的に間に入りアクティビティー時外出時お互い支えあってもらっている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	年間を通しあまり終了する関係はないが、ご相談があればご支援している。又過去に入所していた方の葬儀等にもご連絡いただければ参加している。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	会話の中で希望があれば残しておき職員が共有する。生活の様子から、意向の把握に努めている。	普段の会話から意向を掴むことに努め、難しい場合は家族から聞き取ったり代弁してもらっています。食事では刺身に醤油をたくさんかけたい利用者の気持ちに添いながらも過ぎないようにと職員が上手に導いていた姿が印象的でした。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントシート フェースシートにきちんと記載 確認しつつ共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々経過記録をつけ 朝礼時に報告共有している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンス、モニタリング、ケア計画書等により共有し現状に即したサービスができるように努めている。	ケアマネージャーは受診支援することもあり情報把握に努めています。職員が毎日記入する経過記録にプランが挟みこまれ、常に目にできています。申し送りにも使い、プラン変更にも役立てている連絡ノートには利用者の情報がびっしりと書き込まれていました。	サービス担当者会議により多くの家族が参加できるよう期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	経過記録 生活管理表の記入をし職員間で共有している。連絡ノートも活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	必要に応じ柔軟な支援をし時には家族にも協力していただき取り組んでいる。		

### 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの協力、地域の人々の協力、公園の活用、大型スーパーへの散歩等安全で豊かな生活ができるように工夫している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診希望の方は往診していただき受診希望の方はなじみの病院に行ってもら。緊急を要する場合には、職員にて対応している。	24時間連絡がとれ月2回往診の協力医に18名中16名が変更しています。従来からのかかりつけ医に通う2名については家族が付き添うため、生活管理表など必要に応じてコピーを持参してもらっています。結果は家族から口頭で受け、記録に残して申し送り共有しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回訪問看護師が訪問しており、現状を伝えている。何か変化があれば、相談し、意見を頂いている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	往診医の方が多いのでその都度相談し予防に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	カンファレンスをし状態の共有をして家族に向けても発信共有している。ご利用者にとつて最善となる方法を皆で探す。	「最期までみられる範囲で見ていきます」と家族には伝え、看取りをおこなうとまでは話していません。重度化が進んできた段階で医師と家族とで相談しもらい、事業所としてはターミナルケアができるかどうか医師に判断してもらっています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急連絡網、マニュアルの整備をしている。研修にて共有や夜間は施設長が24時間対応している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力の元防災、火災訓練している。地域との協力体制の強化を図っている。	消火訓練、バケツリレー等年2回実施しています。地域の防災訓練への案内は届きましたが参加はできていません。飲料水、食糧3日分が倉庫に保管されていますが、防災グッズをどこまで準備するかはまだ法人と協議中です。	防災グッズの整備とともに地域と防災における関わりを深めていくことを期待します。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	守秘義務に基づいたプライバシーの保護や人格の尊重、言葉使いに注意している。	法人主催の接遇研修にも出席し、また「共有空間で着衣交換をしない」など当たり前の行為ができていないか管理者が注意を払っています。普段はリビングで過ごすことが多いのですが、独りで過ごすことが好きな人には無理に誘ったりしていません。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いを傾聴し希望が通るよう、また自己決定できる機会を作るよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	散歩、アクティビティー、入浴等できる限り、意に沿うことができるように努力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自己決定できる人は自分でしてもらい自己決定できない人には好みも反映できるよう努めている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その人に合った味付けをしたり、食器や盛り付けを工夫している。できる人には準備片付けをしてもらっている。	法人の意向で「本年7月から食材が業者配達となる」という変化がありましたが、行事ではちらし寿司やカレー、お弁当とバラエティ感をだすよう工夫しています。また誕生会にはホールケーキを各ユニット用意して祝うのが恒例で、楽しみの一つとなっています。	食材が冷凍で入ることも増えているようですので、「固くないか」「筋はないか」などチェックに力を入れることを期待します。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	生活管理表にて把握し、支援、医師にも協力してもらっている、		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	嚥下体操、口腔マッサージを行ったり、毎食後の口腔ケアを実施し自身でできる人には声かけしている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	生活管理表にて排泄の記録をしリズムや健康状態の把握に努めている。出来るだけ自身にての排泄を促している。	本来であればオムツというケースでも2人介助で安全に配慮しつつ「日中は紙パンツ」とし、また歩行が難しくなっても安易に車いすに移行せず、職員が歩行支援をおこない、トイレ誘導をおこなっています。一方夜間は安眠を優先し、オムツとポータブルトイレを有効利用しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	状態に応じて乳酸飲料の摂取、体操等を取り入れている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴は個々の希望をできる限り取り入れている。	特別な事情のない限り1日おきとし、2人毎に湯を入れ替えています。「一番風呂がいい」という人は先に、「ゆっくり入りたい」という人は最後にと、できるだけ希望に応じています。日常では浴剤を、また冬至ではゆず湯と季節を感じてもらっています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	睡眠が取れるように工夫している。夜間の睡眠障害が起きないように散歩、アクティビティー等工夫している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬の防止に努め、的確な服薬が出来る様支援すると共に症状の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯干し、たたみ、花植え等その人の役割楽しみ等が持てる様に支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ドライブ、買い物、花見、イチゴ狩り、大きな公園への散歩へ出かけている。家族との外出等に心がけている。	散歩は天候が良いことや風が冷たくないなどを考慮して、事業所の周りを10～15分間おこない、ほかに玄関にあるベンチに座って外気浴があります。桜の花見、苺狩り、花鳥園は定番となっています。	平均介護度3.4と重度化に向かうなか外出が大変になっているとは思いますが、ADLによって格差が生じないように進めていくことを期待します。



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	心身に影響が出るような人には所持してもらっていない。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	必要に応じて対応している。手紙も預かりポストに入れている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日清掃を行い、室温等に気をつけ換気やエアコン調節をしている。玄関や花壇には、季節の花を飾っている。	天窓から光が差し込み冬でも暖かいリビングは、サンタの顔やブーツの絵が壁や天井に華やかに踊り、気分が高揚します。一方で芸術性が滲む絵画は気分を落ち着かせるものとして在り、双方光っています。職員が温度計を見てエアコンや天窓の開閉に気を配っていることを視認しました。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	危険のない限りは自由に動いてもらっている。個々のへやで共に過ごしたり、一人で過ごしてもらっている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたもの好みのものを置き居心地良く生活できるように過ごしている。	使い慣れた大きな筆筒が2棹収められた部屋や新聞好きな人は読むことはできなくても積み重ねて安寧とし、また長年畳の生活だった人は同じ環境に設え布団の上げ下げも自分で出来ています。きれい好きな人は居室ではスリッパを履き替えていました。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	危険のないように見守りながら、できないところをお手伝いさせて頂いている。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2277102188		
法人名	株式会社アイケア		
事業所名	あいの街篠ヶ瀬 西ユニット(A)		
所在地	浜松市東区篠ヶ瀬町345		
自己評価作成日	平成27年11月18日	評価結果市町村受理日	平成28年1月29日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 [x.php?action\\_kouhyou\\_detail\\_2015\\_022\\_kani=true&JigyosyoCd=227](http://x.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigyosyoCd=227)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	平成27年12月7日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

夏祭りやクリスマス会等、1年を通して行事を多く取り入れています。春にはお花見に出かけたり、施設内をお花や季節感のあるもので飾ったりすることで、ご利用者様と一緒に四季を感じていただくことを大切にしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

山茶花に囲まれ和やかな空気の流れる場所に事業所はあります。平均介護度3.4と重度化に向かうなかでも、安易に手を出すことは抑え『食事』『行事』『健康維持』に力を入れ、例えば食事では「箸を使い、できるだけ自分で」と声かけや提供方法をアレンジし、進まない人には梅干しなど食欲が増すものを検討しています。バイタルチェックは当然のこと、1日の詳細がA3版1枚でわかる生活管理表と名づけたシートを導入して30分ごとに時系列で記録をとり、異変にすぐに気づけるよう観察力を高め、また体操はユニット移動もリハビリの一環と位置づけ、ラジオ、リハビリ、嚥下と時間をかけてゆっくりとおこなうことが日課となっています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼にて理念社スローガンの唱和をし毎日共有している。	毎朝、朝礼では社是を全員で唱和しています。「関わりを通して利用者の笑顔を見ることができた」という経験の積み重ねから、理念「笑顔の見えるケア」が体得されていく様子を管理者は受けとめています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	畑に来ているお隣さんと挨拶したり散歩で近所を回ったり秋祭りを一緒にしています。	地域の秋祭りに合わせて所内での祭りをおこない、屋台の立ち寄り所として職員総出でおにぎり400個を握り振る舞っています。祭りに際しては、常の散歩で花や野菜をもらう近隣には「当日、ご迷惑をおかけします」と事前に挨拶廻りをしてます。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	相談にみえられた方に対応、又地域の老人会への協力で他施設へのご案内紹介をしたりしています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では利用者の状況又施設の状況を報告したり相談に乗ったりしていたっている。又得た情報を活用している。	偶数月の平日開催と定め、前任の自治会長や民生委員も引き続き出席くださり、地域から厚遇を受けています。家族からサービス付高齢者住宅について質問が挙がり、法人所有の施設へと見学に出向いたとのアクティブな出来事もあります。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	常に運営推進会議に出席いただき事業所の実績取り組みについて協力いただいている。	東区役所担当者の異動がなかったので運営推進会議ほか継続的な相談も叶い、ケアマネジャーも介護保険の更新手続きで毎月区役所を訪問しています。地域包括支援センターからの問い合わせが入居に結び付いた例もあります。介護相談員の受入もおこなっています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての研修を毎年行い又毎朝の朝礼時報告相談を受けその都度伝えている。	玄関は状況に応じて施錠することもあります。継続とならないよう注意しています。スピーチロックは全体会議でも語り、その結果ユニット間での連携体制につながり、より発展的に結ばれています。本件は法人研修に位置付けられ、学ぶ場も用意されています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議にて徹底し、その都度注意指導がある。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修にて勉強、成年後見人を活用している人もいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	必ず重要事項、契約書の説明をし変更がある時には説明している。又同意書を頂いている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者には生活の中で意見を聞き家族においては面会時又運営推進会議にて意見要望をお聞きして反映させている。。	面会で伺った内容は連絡ノートに記録したうえで職員全員で話し合い、本人に係ることは改善を進め、運営については法人にあげています。秋祭り、クリスマス会には招待した家族集うこともあり、25名余となったこともあります。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々朝礼の中で意見提案を出し合っている。又月1回の会議にも要望等出している。	個人面談はないものの都度職員の進言や相談があり、管理者としては「言ってもらえていない」「言えないのではないか」といった危惧は全くありません。朝礼の場でも積極的に意見が挙がることもあります。運営というより利用者のことが大半です。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努めている。有給希望休の確認施設長会議にても習得させるよう連絡を受けている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修または外部研修への参加日々の中で気が付いた事は伝えていく		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修への参加、会社内外の同業者、介護事業者との交流見学をしている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所時には寄り添い傾聴する時間をより多く持ち本人が孤立しないよう又他の利用者と協調出来る様努める		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	アセスメント時必ず時間を作り要望または困難なことをお聞きしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所時様子観察している。その都度職員間で共有、問題点があれば対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員とご利用者は信頼関係にあり、共に楽しみ、共に過ごし安心と安全な生活が出来る様努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族とは良好な関係が築けるよう折に触れ話をしイベント、運営推進会議への参加に協力していただき共にご利用者を見守っている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者の部屋には馴染みのものを置き家族知人には積極的に施設の集まりに参加してもらっている。	以前の勤務先の同窓会にと出かけたり、隔週ごとに家族に髪を切ったり等の身のまわりの世話をしてもらえる人もいます。時事に関心があり、毎日新聞に目を通して自分の意見を大切にしている人、仕事人間だったという人は就寝が現在でも24時です。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	常にご利用者全員の状態を把握し流動的に関わり合い支えあう関係が出来る様見守っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	過去退去した家族からもご紹介いただいたりお亡くなりになったりしたときにも、ご連絡もらったりしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の中で希望等あればお聞きし共有する。又気があれば残し職員で共有してできる事は叶えてあげる。	認知症とはいえ歩行の不具合に職員が気づき、家族の理解を得て受診でき水頭症ということがわかり、手術に至った例があります。術後、以前に比べて本人の反応も向上し経過も良好です。何を思っているか、どうしてほしいか、観察力を大事にしています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントシート、フェースシートにて聞き取ったことを常に確認し共有間違いがあれば正していく。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	常に変化に気付くと共に経過記録等に記載し共有現状に合ったサービスに変えていく。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	会議の中で朝礼の中で変化に機敏に反応出来る様共有している。時に家族 医師とも相談協力いただき対応している。	ケアマネージャーは受診支援することもあり情報把握に努めています。職員が毎日記入する経過記録にプランが挟みこまれ、常に目にできています。申し送りにも使い、プラン変更にも役立てている連絡ノートには利用者の情報がびっしりと書き込まれていました。	サービス担当者会議により多くの家族が参加できるよう期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活管理表、経過記録への記載又医師からの助言等も共有し実践介護計画の見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者がいつもベストの状態で見られるよう関係各署とも連絡を取っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近所の公園 町内のお宮 花畑 ボランティア周りの方々の情報をいただきながら活用している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診医が多いが、受診希望のご利用者は馴染のかかりつけ医に行っている。	24時間連絡がとれ月2回往診の協力医に18名中16名が変更しています。従来からのかかりつけ医に通う2名については家族が付き添うため、生活管理表など必要に応じてコピーを持参してもらっています。結果は家族から口頭で受け、記録に残して申し送りでも共有しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週一にて来施情報の共有又アドバイスを貰っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	往診医利用が多いので常に情報が共有でき又早い段階で予防処置もとってもらえる。長い入院もあまりなく良い関係を築いている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	常に家族とは連絡を取り状況把握をしていた。その中で本人に一番良い方法をチームにて支援していきたいと思っている。	「最期までみられる範囲で見ていきます」と家族には伝え、看取りをおこなうとまでは話していません。重度化が進んできた段階で医師と家族とで相談しもらい、事業所としてはターミナルケアができるかどうか医師に判断してもらっています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の連絡方法対応は常に研修しており緊急連絡はわかりやすい位置にはっている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の指導の下自治会の協力も得て防災火災訓練を定期的に行っている。	消火訓練、バケツリレー等年2回実施しています。地域の防災訓練への案内は届きましたが参加はできていません。飲料水、食糧3日分が倉庫に保管されていますが、防災グッズをどこまで準備するかはまだ法人と協議中です。	防災グッズの整備とともに地域と防災における関わりを深めていくことを期待します。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々のプライバシー確保人格の尊重をし朝礼時確認共有している。	法人主催の接遇研修にも出席し、また「共有空間で着衣交換をしない」など当たり前の行為ができていないか管理者が注意を払っています。体操の時間には声かけで参加を促しますが、本人がやりたがらない場合は無理強いしていません。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定できる方には傾聴していただける事をしていただく。希望の表出を見逃さず希望に添える事は協力していく。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴食事、アクティビティー起床散歩許す限り希望に沿うようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分でできる決定は自分でしていただきその人らしくおしゃれや身だしなみをしていただく。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しくできるように意見を聞いたり試食していただく。	法人の意向で「本年7月から食材が業者配達となる」という変化がありました。行事ではちらし寿司やカレー、お弁当とバラエティ感をだすよう工夫しています。また誕生会にはホールケーキを各ユニット用意して祝うのが恒例で、楽しみの一つとなっています。	食材が冷凍で入ることも増えているようですので、「固くないか」「筋はないか」などチェックに力を入れることを期待します。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	経過記録、生活管理表にて把握し勉強、個々にあった食事のご提供をしている。希望する時間に水分補給してもらっている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアをして汚れ匂いがないようにしている。		



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	生活管理表にて健康状態を把握して排泄リズムを確認し支援している。	本来であればオムツというケースでも2人介助で安全に配慮しつつ「日中は紙パンツ」とし、また歩行が難しくなっても安易に車いすに移行せず、職員が歩行支援をおこない、トイレ誘導をおこなっています。一方夜間は安眠を優先し、オムツとポータブルトイレを有効利用しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の運動を心がけ食事をキッチンと取り排泄を促している		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴日やタイミングは常に柔軟に対応している。場合によっては清拭、足浴をしている。	特別な事情のない限り1日おきとし、2人毎に湯を入れ替えています。「一番風呂がいい」という人は先に、「ゆっくり入りたい」という人は最後にと、できるだけ希望に応じています。日常では浴剤を、また冬至ではゆず湯と季節を感じてもらっています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間に睡眠が取れるよう日中、アクティビティ、散歩を取り入れた支援をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬防止に努め体調変化に注意し的確な服薬を支援している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事の準備、洗濯干し、たたみ、生け花、掃除その人の楽しみ、役割を持てるように支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	支援している。花見、イチゴ狩り ドライブ公園、大手スーパー四季を通し外出支援している。家族との外出もある。	散歩は天候が良いことや風が冷たくないなどを考慮して、事業所の周りを10～15分間おこない、ほかにも玄関にあるベンチに座って外気浴があります。桜の花見、苺狩り、花鳥園は定番となっています。	平均介護度3.4と重度化に向かうなか外出が大変になっているとは思いますが、ADLによって格差が生じないように進めていくことを期待します。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	人によりお金の所持をしている。お出かけ時使用している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人自らが電話をしたり手紙のやり取りをしておりはがきを用意したりポストに投函したりして支援をしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	窓、天窓を開け風を入れたりエアコンを使って調節、又、季節の飾り物をして四季を感じてもらっている。	天窓から光が差し込み冬でも暖かいリビングは、サンタの顔やブーツの絵が壁や天井に華やかに踊り高揚します。一方で芸術性が滲む絵画は気分を落ち着かせるものとして在り、双方光っています。職員が温度計を見てエアコンや天窓の開閉に気を配っていることを視認しました。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個々の部屋に入ったり新聞を読んだりして、一人の時間を大事にしています。又2ユニット一緒に過ごすことも多く仲の良い人と団らんしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染のあるものを身近に置き自身の空間づくりをしている。又ご利用者、職員と一緒に季節を感じられるような工夫をしている。	使い慣れた大きな筆筒が2棹収められた部屋や新聞好きな人は読むことはできなくても積み重ねて安寧とし、また長年畳の生活だった人は同じ環境に設え布団の上げ下げも自分で出来ています。きれい好きな人は居室ではスリッパを履き替えていました。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内はバリアフリー、補助棒を使用安全に気をつけている。又、人によっては入口に標をつけ自身が自立して過ごせるようにしている。		